

平成 31 年 1 月 2 7 日

「南区コミュニティコーディネーター育成講座 アイディア発表会」の視察について

氏名 岡 昌子

- 1 訪 問 日 平成 31 年 1 月 2 3 日 (水) 1 6 : 1 0 ~ 1 7 : 3 0
- 2 会 場 白根学習館 ラスペックホール
- 3 対 象 コミュニティ・コーディネーター育成講座の受講生(高校生)

- 4 運営団体 白根地区公民館

5 活動の概要

コミュニティ・コーディネーター育成講座の受講生を高校生に限定し、若い世代が地域を考えるきっかけ作りと、地域にとっては若者のアイディアを吸収する機会とする。発表までの 4 回のワークショップにより地域の課題解決のためには住民同士のコミュニケーションをより深めることが大事であり、そのための取り組みとして考えたアイディアの中からスマホを使ったラインによるコミュニケーションの拡大を選択した点と、その発表を寸劇にした所は、如何にも高校生らしい感性が光っている。

6 活動にみえる「次世代育成」

高校生が地域のことを真剣に考えるという機会はその多くはないと思うが、コミュニティ・コーディネーター育成講座という社会教育の場に参加することで可能になった取り組みである。素晴らしいのは、講座修了後に実践として住民に向けたスマホ講座を企画し実現の第一歩としている。この実践は、高校生の得意分野で、身の丈にあった無理のないものであることから高校生自信が後輩たちに繋いでいくことも可能なことと考える。

7 今後に向けて

新しい視点を持って考えた、高校生が対象の今回の事業は、他の地域にとっても興味深いものかと思う。“継続は力なり” 実践活動を今年度だけのイベントにしないこと。今回の取り組みをきっかけに、高校生が地域と関わる機会を更に創り出す工夫を地道に重ねることが必要である。